

「パリーアーク」

太陽に氷晶でできた上層雲(巻雲や巻層雲)がかかると、さまざまな大気現象が見られます。一番よく見られるのは、太陽の周囲に色のついたリングができる、暈(「かさ」または「うん」)で、これは高い確率で見られます。今日の昼休みも、校庭で遊んでいた子どもたちが、「先生、太陽のまわりに、虹の輪っかが見えるよ!」と言うので、見上げれば暈がかかっていた。しかし、よく観察すると、他にもいろいろな現象が付属していました。



上端接弧は時々見られますが、パリーアークは非常に珍しいです。肉眼でもよく見えました。台風が接近する時、去ったあとには、よくこういう大気光学現象が見られます。樹木などで太陽本体を隠すと、観察しやすいです。是非、注意して観察してみてください。

(お茶の水女子大学
附属小学校 田中 千尋)